05
15.8.7

中國新聞

廣島市上流川町二一番地
發行所　合名會社　中國新聞社
電話代表中②長三番　振替口座廣島五〇〇〇番

新聞定價　一ケ月前金壹圓五拾錢　三ケ月前金參圓拾錢　六ケ月前金　郵税ケ月一
廣告料　五號十五字詰一行壹圓貳拾錢　特別場所指定右ノ倍額
發行兼編輯印刷人　増田幹吾

美酒　旭菊　アサヒキク　大藏醸

畏し・各閣僚に對して 平服拜謁の御沙汰

酷暑下の勞苦を思召さる

畏くも天皇陛下には葉山御用邸に御駐輦中におかせられても時局下御政務、御軍務の御親裁に宮城にあらせられると同様何多端にわたらせられ、内閣大本營から拜呈の書類は日日御閲覽といはずその都度御裁可あらせられると承るが、御駐輦中政務奏上のため伺候する近衞總理をはじめ各國務大臣などに對し酷暑の折柄平服の着用差支へなき旨このほど有難き御沙汰あらせられ、松平宮相は恐懼右御沙汰を内閣に傳達した、葉山御用邸におかせられては多く純白の海軍御軍裝を召され顧官などに拜謁仰せつけられるのであるが、重臣などが酷暑の際フロックまたはモーニングコートに威儀を正して伺候する勞苦を思召され、また多忙な閣僚がガソリン統制の折柄自動車の費用も出來ず電車にて往復し、その都度一々服裝を改めて伺候することは行はれ難く特にこの時局に政務の敏易敏捷に行はれることなどを叡慮あらせられる畏き思召しと拜察し奉るが、この御沙汰を拜した近衞首相は五日の伺候に際し背廣の輕快な平服で恐懼拜謁仰せつけられたのであつた、なほ常時御近侍に奉仕する松平宮相、木戸内府、百武侍從長なども葉山に御駐輦中は各閣僚と同様平服にて支障なき旨御沙汰を拜し恐懼申上げてゐる

歐洲事情を御聽取

佐藤使節お召し

天皇陛下には訪伊經濟使節の使命を果して、去る四日歸朝した同使節團長佐藤尚武大使を七日葉山御用邸に召され、午後二時半から賜謁、奏上を御聽取あらせられる旨御沙汰あらせられたが、佐藤大使は日獨伊通商關係をはじめ參戰下のイタリアその他戰時下歐洲の國際事情など視察狀況を具さに言上するはずで、松平宮相、木戸内府、百武侍從長など、御近臣にも陪聽差許されると承る

各層の權威を網羅 總力戰研究所を設置

今秋十月ごろには開設

企畫院ではかねて思想、政治、經濟、社會、技術などあらゆる分野にわたり國家の綜合國力の研究企畫に資するため總力戰研究所を設置することになり、これが組織機構について研究を重ねてゐたが、このほど大體の成案を得るにいたつたので近く閣議に附議決定の上樞府御諮詢奏請の手續をとるはずで、これが實現する時期は早くて十月になるものと思はれる、しかして同研究所は總理大臣の直轄として内閣に設置し、所長は軍官民中から適任者を選ぶはずで、所員も陸、海軍をはじめ各省官吏および民間のエキスパートを網羅する軍官民一體の機構とし、總力戰に關するあらゆる研究を行ふほかこれが廣く國民に徹底普及する、また官吏の再教育訓練の道場としても重要なる役割を演ずるものとして新體制の思想統一、政戰兩略の一致をはかるための有力機關として將來右研究所の活躍は大いに期待される

スパイの檢擧事件は 十分な犯罪の確信

經濟違反は斷乎絶滅

風見法相の車中談

風見法相は新任奉告參拜のため六日午後二時東京驛發西下したが、車中新體制確立問題その他につき大要左の通り語つた（神岡發）

新體制確立問題　わが國の現段階において國家新體制の建設が必要であることは今更言を要しないことである、しかして舊體制を棄てゝ新しき體制へ移らんとする動きは各方面から澎湃として起りつゝあり、この情勢を組織化して行くことは近衞内閣に課された重要な任務である、換言すれば今回の政變は國家の新體制を建設せんがために行はれた政變であつたのである、しかも新體制を實際に具現するの必要はいよいよ緊迫しつゝあり、この間の情勢を察して近衞首相はその具現方策につき日夜想を練つてゐるが、新體制の根本理念は要するに上御一人の下萬民が一體となつて世界新秩序建設の眞只中に乘出し、あらん限りの力を揮ひ得るやうに國家の仕組を建直すことである、たゞこゝに注意しておきたいことは新體制を建設するといつても古き體制が一夜にして新體制に變化するものではなく、理想に描く新體制を建設するまでの過程は近衞首相のいはれる荊の道であることを覺悟しなければならないことである、新體制建設の根本は、自己批判から出發するといふことが出來る、しかしてもろもろの障碍困難を突破して進まなければならないが、この建設を完うせねば大東亞新秩序建設の重責を果すことは斷じて不可能である、故に國民の一人一人が悉く『われこそは、時代を指導するのだ』といふ自尊心と熱意と氣魄とをもつてその力を十分に發揮せねばならぬ、かくて新體制を完成せしめることは銃後國民に課せられたる責任であると信ずるたゞし政治は必然の運命として鬪爭を伴ひまた現實を無視して政治を行ふことは出來ないのであるから建設の道程においては一歩前進一歩退却、一歩前進二歩退却といふ狀態を幾回となく繰返すであらう、しかしながら物事を焦らず急がずあくまでも彼岸を目指して一歩一歩前進の努力を拂ふ心構へが必要である、新體制の建設は遠からず準備委員會の組織によつてスタートを切ることゝ思ふが、その組織の方法ならびに内容について言及することは今のところ差控へたい、たゞプロセスが非常に重要であるといふことだけはいひ得る

選擧法改正問題　新體制建設に順應して現行の衆議院議員選擧法に改正を加へなければならないことは定說となつてをる、司法省は選擧法の改正には關係を有するのでこの問題が具體的に取上げられる場合には新體制に即應するやう積極的に協力したいと考へてをる

司法省所管事項　最近起つた外人スパイ檢擧は憲兵當局と檢察當局の緊密な連繋下に行はれたもので、司法當局としては犯罪ありとの確信のもとに十分な責任をもつて行つた檢擧である、これをもつて政策的な措置だと誣ふるものはわが國における檢察裁判の嚴正公平な運用をわきまへざるものゝ言で、取調べの經過に伴つてその懐疑が自ら氷解さる時期が遠からず到來するであらう、その場合イギリス政府もはじめてわが司法權の運用の正義を感得することゝならう、政治新體制確立に伴つて司法はどうなるかよく人に聞かれるが、いかなる時代いかなる國でも裁判制度の價はらないものはなく、その裁判が正義にもとづいてなさるべきことは何人も疑ひないところだと思ふ、したがつて政治新體制下にあつても國民に對し、また政治諸機關に對して常に反省公正を求むる機關の存在は必ずこれを必要としなければならない、だが現在の民刑裁判制度は前時代のもとに制定されたのであつて、それが必要な時期に必要な新しい時代の實際に必ずしも適合しないところがあるかも知れないこの點については事務當局においてすでに再檢討に着手してゐる、たゞ現在のやうに國民の自省を求むる政治をなす時代においては官吏の反省が切に要求されなければならない、官吏の責任感は往時に比して甚だしく稀薄になつてをるこれには法制の改革も必要かも知れないが主たるところは官吏その人の心構への問題だ、司法部には研究所の施設があつて司法官の心構へを鍛錬し時代に適應する學問識見を涵養して着々效果をあげてをる、經濟事犯は現時の段階においては最早單なる一つの法的違反ではなくして戰時經濟體制に對する反逆行爲であるから斷乎としてこれが絶滅を期するのが緊急の要務である、經濟事犯はたゞ刑罰を課すればよいといふことではなく、その本を正すことが第一であることもちろんであるが、今日においては法令も一般に行きわたつて國民もその取扱に通じて來たのであるのに、それにもかゝはらず惡質の大規模な犯罪が増加することは憂ふべきことで、かゝる事犯の増加に對し適切なる防遏のため特殊な手續を制定する必要があると考へてをる、これに對する對策を少しでも怠ることの出來ないことは何人も疑はないところであらう、ことにコミンテルン謀略が年を逐うて深刻となつて行く今日これが對策もたゞ舊套を追ふのみでは役に立たない、これについては目下その對策の強化につとめ研究中であるから遠からずなんらかの成案を見るであらう

風見法相西下（東京驛頭＝電送）

佛印の援蔣罪科 中止で抹殺出來ぬ

南支軍某幕僚視察談

【廣東六日發同盟】佛印の援蔣物資禁絶の徹底について佐藤監視委員長代理とドクー佛印總督との間に依然折衝が續けられてゐるが、佛印側の誠意の見え切らぬ態度がはじめ佛印最近の實情につきこのほど同方面から廣東に歸來した南支軍某有力幕僚は次の通り意義深き談話を行ひ各方面の注意を喚起した

私は佛印當局の諒解を得て約一週間にわたり河内をはじめとしわが監視員の分駐してゐる國境附近の街老開、ランソン、カオバンおよび海防、海防附近を旅行して來た、わづかの日數だが私自身が見聞したありのまゝを若干述べることにしよう、第一佛印内には今日なほ多數の援蔣物資が隱匿散在されてゐることである、海防の如き街の隅々にある空地にみな矢來の垣根がめぐらされ、援蔣物資たるトラック、ガソリン、鐵道材料などが集積されてゐるのである、最早どこかへ持出されてゐるものもあるが、まだ殘つてゐるものも少くない、殊に海防から河内に向ふ自動車道の町外れには列車の引込み線まで幾條となく設けられ、ガソリンタンクやドラム罐が空地に充滿してゐるのを目擊した、またわが監視員の分駐してゐる國境附近の街々にも援蔣物資をバラック造りの倉庫や山陰に隱匿し、軍隊をもつて直接警戒してゐるところも見受けられた、またある鐵道の驛前ではどこか河の中にでも一時隱匿したらしい泥土だらけのドラム罐が一千以上も空地に集積されてゐるのを目擊した、またある驛では車庫の中にひそかに自動車のタイヤを山積してゐるところも見た、佛印當局はついこの間まで帝國再三の注意にかゝはらずあくまで軍需品にあらずと大見得を切りながら大々的の敵性行爲を行つてゐた罪科は明かに證明せられてゐるのである、なほ滇越線は河内—老開間一日目下一列車を走らせてゐるが、援蔣行爲盛んなりしころは一日十列車におよんでゐた、また海防、河內、ランソン、カオバン方面を經て監視所にいたる自動車道路は實に立派なものであつて、これら道路を利用しいかに援蔣貨物自動車群が走行したかは想像にあまりあるものがある、土民はまだ歐洲においてフランスがドイツに屈服したといふことなどは全然教へられてゐないから大部分のものはまだ知らないが、土民のフランス人に對する反感は深刻なやうに感ぜられる、これに反しわれ／＼日本人に對する親しみは格別のやうに思はれる、監視員の佛印駐在やわが日本人の佛印入國が佛印側にとつて非常な惱みとなるのも最大の原因をなしてゐるものはこの土民（安南人）の心理狀態である、佛印當局はこの枯草に日本人が火をつけやしないかを極端に恐怖してゐる、日本人と土民との接觸を極力監視し防止してゐる狀態はむしろ憐憫の情を催すほどである、これを要するに目下佛印當局は四圍の情勢上やむを得ず日本および日本人に對し表面つとめて友好的態度を裝つてゐるが、しかし過去において侵した莫大なる援蔣罪科は決して單にこの行爲を一時中止したくらゐで抹殺され得るものではない、佛印當局がもし自己の自力を無視した態度に出ることあらばそれは自ら禍に誘引となるものであることを痛切に感ずるものである

海運統制を強化 輸送能率最高發揮

日本發送電改善も急務

村田遞相車中談

村田遞相は新任奉告參拜のため六日午後十時三十五分東京驛發西下、車中當面の諸問題につき左の通り語つた、現下海運統制の強化による輸送能率の最高發揮ならびに日滿支三國にわたる統一的交通機構の確立を力說しなほ電力管理に關し配電管理の必要に言及したことは注目される（小田原發）

戰爭遂行の大東亞の建設に交通運輸がいかに重要な役割を擔ふものであるかは今更多言を要しない、今日わが國の活動範圍はいよいよ擴大せられ廣汎なる地域に散在する物資をも含めて物資總動員計畫や生產力擴充計畫が進められてゐるのであるが、物資は單に存在するといふだけでは勘定も同様であつて、それが必要な時期に必要な場所に輸送せられてはじめて役に立つのである、この趣旨にかんがみ海上および陸上輸送線の整備強化こそは刻下喫緊の要務であるそれがためには萬難を排して船腹の擴充、鐵道輸送力の増強に努力するとともに海陸輸送事業の統制強化をはかり、重要物資の輸送確保に重點をおき輸送能率の最高發揮に官民一體となつて力を竭さねばならない、特に海運については現在の統制機構を再檢討し一層これを強化する必要を認める、海運、陸運、交通の各輸送機關の整備擴充は一日も速かにこれが實現をはかり日滿支における臨海經濟の全分野にわたる輸送機關をもつて一丸とした統一的交通體系を確立して大東亞の建設、進んでは世界新秩序建設の根幹たらしめたい

電力管理　電力管理に關してはわが代行機關たる日本發送電會社を引締めるとともに收支の改善をはかることが急務である、その對策は種々あるであらうが低物價政策との矛盾を生ぜしめないやう特別の考慮を加へなければならない、電力管理の成果を完からしめるためには配電管理より進めるのが筋であらう、電力開發については物資との計畫や生產力擴充計畫と關聯せしむることはもちろんであるが、さらに進んで國土計畫との關係も考慮して日滿支三國を一體とする工業立地の推進をめざしその基礎施設たらしむるやう綜合的有機的開發をはからねばならない、電力需給關係は現在各地とも降雨に惠まれ小康を得てゐるが、これが消費については細心の注意を拂はれいさゝかの無駄もないやう必要缺くべからざる方面の供給を確保することに協力してもらひたい

通信事業　通信事業に就ては積極的にこれが整備擴充をはからねばならない事變以來電信電話郵便など通信の利用はいづれも急激なる膨脹を示してゐるが新規の施設は時局下資材緊急を要する一部の需要を滿し得るに過ぎず一面從業員の負擔もまた過重となつてゐるので通信事業の重要性とその現狀とを理解せられ不急不用の通信を抑制し重要通信の疏通に支障を來さしめないやう協力を願ひたい、このことはひとり通信に限らず交通運輸の全體に共通する問題であるから重點主義により事業の運營は所管行政の各部面にわたり今後一層強化せられるがお互ひに戰時生活を強化し不自由を忍んで積極的にこれと協力してもらひたい、なほ物價騰貴に伴ふ從業員の生活難緩和の問題は切實にその必要を痛感せられるので速かにその實現をはかりたい

親獨伊政策を採用

和戰問題は未決定

重慶首腦部會議

【香港六日發同盟】重慶來電によると和戰問題と外交路線の選擇について最後的決定を下すべく本月一日重慶某所に招集された全國黨政軍首腦部會議は四日間にわたる猛烈なる論爭を經て最終會議席上左の通り重大方針を決定し四日午後散會した

一、和戰問題（イ）内外情勢の激變にかんがみ新に適當な事態對策を講ずべく、これが一切の措置を國防最高委員會に一任すること（ロ）將來本格的和平交渉に入り得る見込みがついた際は改めて首腦部會議を招集し和平方策について正式決定を行ふこと

二、外交政策問題　聯ソ聯米の兩面行路線を維持するほか親獨伊政策を新に採用すること

なほ首腦部會議が中共および聯ソ派の強硬なる外交一元化政策を退けて親獨伊路線を採用した理由は聯ソは支那にとつて將來重大危險を伴ひ聯米は手遅くして重慶の窮境下の急を救ふにたらずとの見地から駐獨大使陳介の報告、強化勸告を容れたことによるものである

身分保障令を撤廢

文官試驗は一本建に

官界新體制確立に關する第一回小委員會は六日午後一時三十分から首相官邸で開催、安井内相、河田藏相、風見法相、星野企畫院總裁、村瀬法制局長官、富田書記官長出席、前回に引續きさきに政府が發表せる官界新體制確立要綱中の第一項目たる

一、文官任用制の改革
一、文官分限制度の改革
一、文官試驗制度の改革

の三問題につき法制局提出の資料を基礎に協議した結果、平沼内閣以來懸案の官吏身分保障令はこれを撤廢し、また文官試驗制度の改革は外交科、行政科を一本にして司法、行政の二本建とすることに大體意見の一致を見、委員會は同三時十五分散會した、しかして今回新體制の確立については右のほか官廳行政事務の再編成、官吏道刷新などの懸案が殘されてをるが、官吏制度の改革は新政治體制の確立とともに速に實施する必要があるので、成案を得たものより順次實行準備に着手する方針で、同日の小委員會で意見一致を見た身分保障令撤廢ならびに文官試驗制度改正に關しては法制局において直ちに條文の調整を行ふことになつた、出來れば九日遲くも十三日の閣議に附議決定の上樞府御諮詢の手續を執るはずである

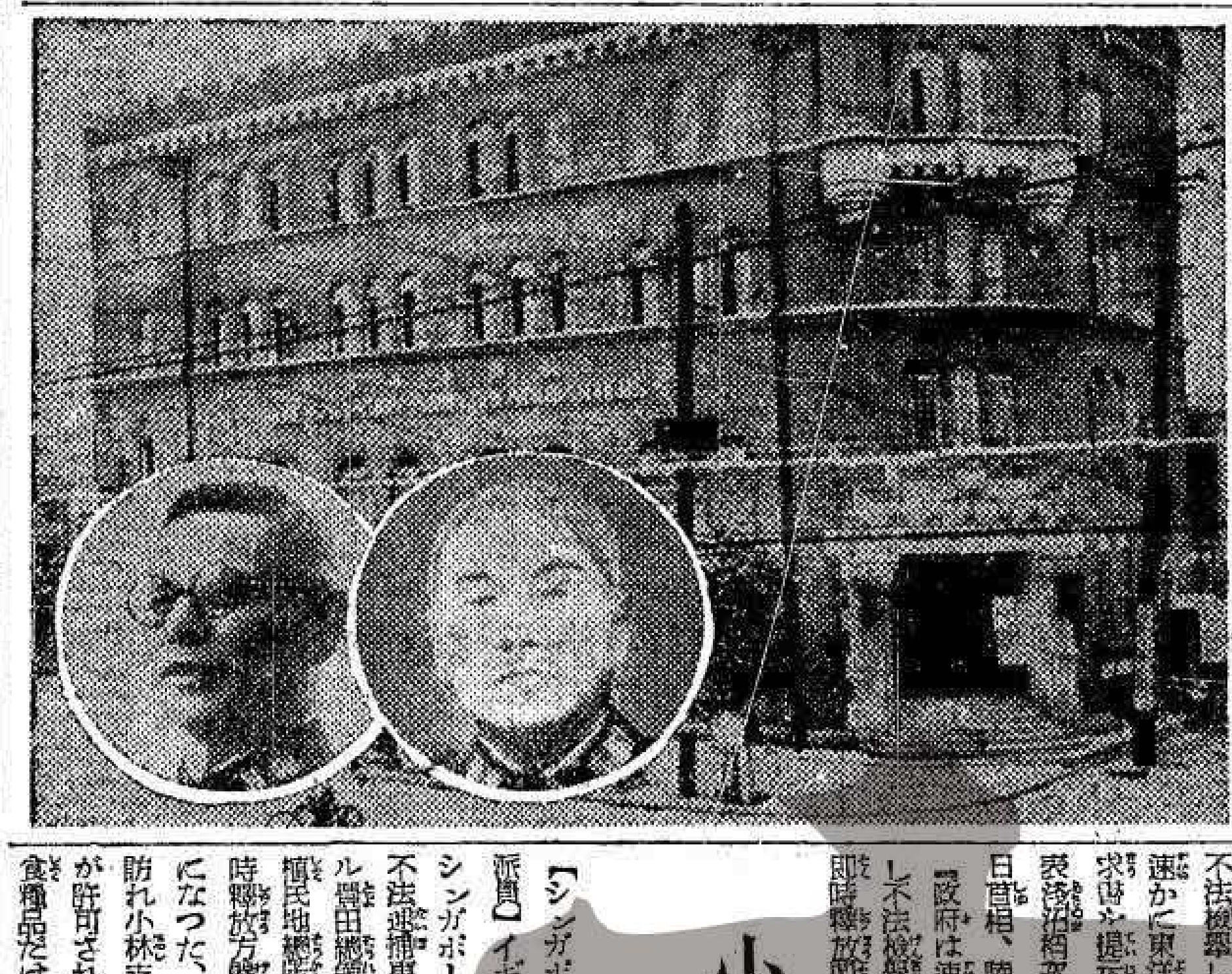
救世軍首腦部を引致

防諜上の容疑で取調中

陸軍省發表六日午後五時　東京憲兵隊は七月三十一日救世軍日本地方軍團に對し防諜上の容疑をもつて司令官植村益藏、書記官長瀬川八十雄ほか五名の幹部を引致目下取調中なり

右に關する陸軍當局談

宗教の國民生活に必要なることは論ずるまでもないが、宗教の美名に隱れあるひは外國諜報の手先となり、あるひは外國の對日思想謀略の前衞に、または溫床體となり、もつて不知不識の間國民の思想を害する事實については、思想國防上に重大なる關心を有する軍は宗教そのものとは別個の問題としていかなる狀況においても斷乎たる措置をとらざるを得ないのである


救世軍本部と首腦（圓内向つて左植村少將、右瀬川書記官長）

外相、英大使から 正式説明を聽取

今後の出樣を監視

クレーギー駐日イギリス大使は六日午後外相官邸に松岡外相を訪問およそ一時間にわたり會談を遂げ六時十分辭去した、右會談においては相互に冷靜な態度を示しつゝわが方のイギリス人スパイ檢擧事件およびイギリス側の邦人不法逮捕事件に關し意見の交換を遂げたものと見られるが、松岡外相から主としてイギリス側の不法逮捕に對する正式說明を聽取したにとゞまり、わが方から強ひて突込んだ說明などもとめず會談はきはめて事務的に終始した模樣である、しかして本件については今後といへどもわが方からこれ以上の說明を聽取するなどのことをなさず、既定方針に則り冷靜かつ毅然たる態度をもつてイギリス側今後の出樣如何を監視するだけである

英大使館へ要求書提出

東京排英同盟

東京排英市民同盟は六日イギリス大使館に對し『イギリス政府は不法檢擧したる同胞を即時釋放し速かに東洋より手を引け』との要求書を提示するとともに、その代表淺沼稻次郎、阿部茂夫氏らは同日首相、陸相、海相、外相に對し『政府は速かにイギリス政府に對し不法檢擧せられたる在外邦人の即時釋放要求を貫徹し、斷乎たる態度をもつて排英方針に邁進すべし』との決議書を手交し政府を鞭撻した

對英強硬打電

民政黨廣島縣支部

民政黨廣島縣支部では、六日開會の役員會で今次の邦人檢擧に示された英國の暴戾極まりなき敵性に對し政府は斷乎たる態度をもつて善處するやう左の決議文を決議し、直ちに近衞内閣總理大臣、松岡外務、東條陸軍、吉田海軍の三大臣あて打電した

帝國聖業の理念を解せず悖逆行爲、邦人不法逮捕など暴虐極りなき敵性を發揮して憚らざる英國の如きは世界新秩序建設上の一大脅敵たり、斷乎萬難を排して打倒擊滅すべし

小林氏の釋放

きのふから交渉開始

【シンガポール六日發同盟】イギリス官憲の同盟通信社シンガポール支局長小林猪四郎氏不法逮捕事件に關し、シンガポール總領事は六日から馬來政廳民地總監ジョーンズ氏に對し即時釋放方の交渉を開始することになつた、一方記者は五日監獄を訪れ小林支局長に面會をもとめたが許可されず、小林夫人の屆けた食糧品だけは差入れを許可された、その際係員は

自分は面會の方は係りでないからどうにも出來ないが食糧品は午後二時から四時までの間に屆けませう

といつてゐた續いて記者は看守長に會つたところ小林氏は至極元氣で待遇もよく決して囚人としてではなく『客分』として取扱ひを受けてゐると語つた

自滅に瀕す

中支方面新四軍

【漢口六日發同盟】敵の捕虜投降兵より得た情報を綜合すると、中支方面における新四軍共產軍の現在の分布狀態ならびに現狀は左の通りである

すなはち新四軍は現在北は京漢線信陽地區から東は大別山脈城、西方は京山地區の山岳地帯にわたるすこぶる廣範圍に分散潜伏し時折わが方の隙を窺つて蠢動してゐるが、すでに昔の活潑さは失はれいづれも五十乃至百ぐらゐの小人數による小規模の遊擊隊で、その概數約七千、成立當時は四枝隊に分類されてゐたが、現在は次第に枝隊を増し細分化しその裝備も兵の素質もともに當初よりはるかに低下してゐる

さらにわが軍のため事前に大打擊を被り幹部の死亡負傷するもの相つぎ、これに基因する幹部の缺乏は新四軍最大の惱みの種で、加ふるに新舊兩幹部の反目、國民黨軍の暗躍、對民衆工作における國民黨との爭ひ、政治軍事兩幹部の相剋などの内訌は日を逐うて激化しつゝあり、同軍の自滅も近きを思はせるものがあるといはれる

時局產業勞務者の 移動防止強化

違反事業主も嚴罰に

時局產業の發展に伴ひ勞務者の移動を防止する目的で政府は本年四月以來國家總動員法第六條にもとづく從業者雇入制限令を制定實施して來たが現行のものでは勞務者の移動がなほ合理的に行はれて徹底的にこれを防止することが不可能なので、厚生省職業部において立案した改正案にもとづき企畫院第三部において目下鋭意最後的檢討を行つてゐるが、右改正案は遲くとも今月末までには總動員審議會に附議決定のうへ九月中旬に公布それより二週間を經て實施のはこびとしたい方針である、しかして右改正案の骨子は左の通りである

一、現行勅令による勞務者移動防止、百三十四の職種別を產業別とし廣範圍にわたつて適用すること

二、現行勅令では新職場への移動に六ケ月の猶豫期間をおいてゐるが、高給の勞務者中には六ケ月では痛痒を感ぜず、この期間を徒食するものもあるのでこれを一ケ年に延長すること

三、現行では未經驗工の期間は三ケ月であるが、これを一ケ月、場合によつては二週間に短縮すること

四、現在比較的容易な商店員などの工場への移動も嚴重に取締ること

五、罰則規定は現行では一年以下の懲役刑、五千圓以下の罰金刑となつてゐるが、これを嚴にし違反の事業主を嚴罰に處するとともに民法上の解雇規定を加味し、また行政處分としては情狀により違反事業主より軍需工業の下請工場としての資格を剝奪する

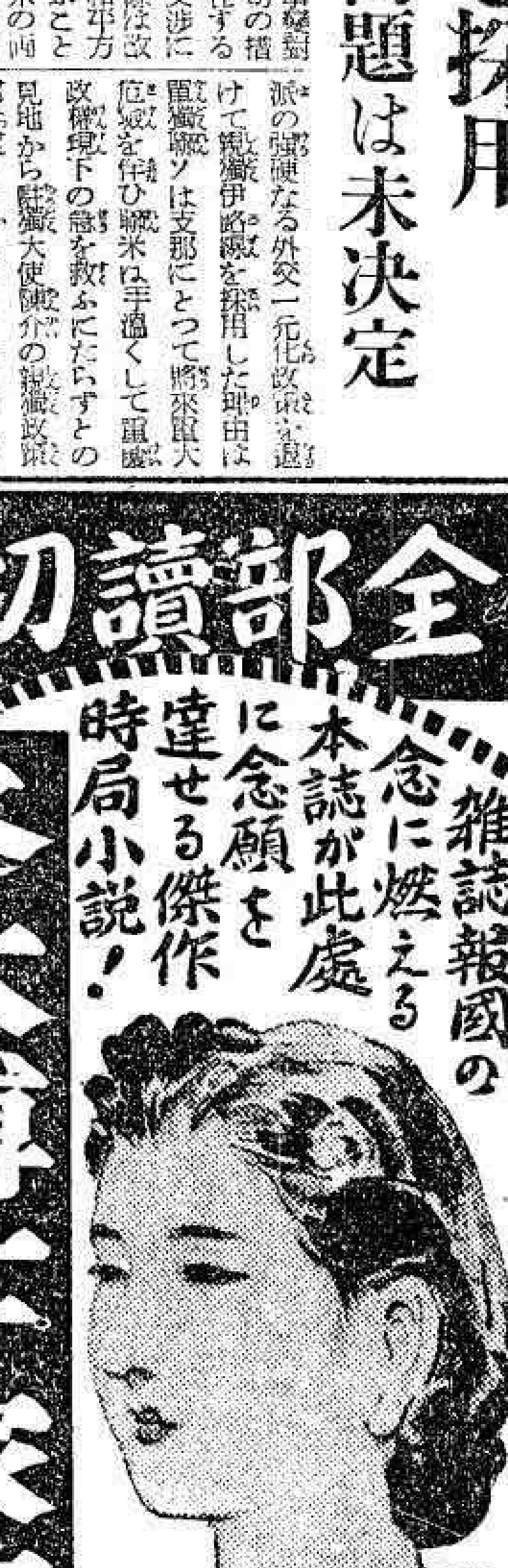
【本紙（夕刊とも）十頁】

中國新聞

ポリドール
流行歌
夕陽は遙か
發賣毎に地歩を固める新鋭歌手！好評は何處まで續く！
田端義夫
PO-751

全部讀切・全部傑作

オール讀物　九月特別號

雜誌報國の念に燃える本誌が此處に念願を達せる傑作時局小說！
冬木博士の家族　鈴木彦次郎
歸還　夫を戰場に送りて一家を背負ふ妻の雄々しき銃後の生活
二勇士戰爭とスポーツを語る　拳鬪界の巨豪 笹崎僙・プロ球界花形 澤村榮治
時局讀物　闇取引と經濟警察　警視廳經濟保安課長 永野俊雄
☆宣昌從軍日記　本社特派 大佛次郎
☆歐洲戰爭餘談（繪・文）藤田嗣治
現首相が受け繼ぐ經國の大識見　近衞篤麿　菊池寬
特輯色頁　傳言板　世相判斷の　高田保　猛烈なる鋭筆妙に解剖す現代世相
錢形平次　北冥の魚　野村胡堂
現代小說　微風　丸岡明
山窩秘話　吠えない犬　三角寬
時代小說　北海の劫火　村上元三
◇本誌特輯・時の話題◇
新外相松岡洋右の登場…轉換外交の實踐へ
食堂から消える米の飯…三段構への節米運動
敗戰フランスの苦悶…佛印は何處へゆく？
贅澤品禁止令の意義…國民生活の建直し必至
特三種記者　浦守
空想船　式場隆三郎
◇皇軍の戰跡を訪ねて◇　滿洲バス・メモ（名所戰跡風俗等坐り乍らの滿洲見物）
時代小說　かたき三界　大池唯雄（爛熟の江戶敵討奇聞）
從軍小說　山田上等兵の話　川口松太郎（陣歿勇士の思出悲し）
諧謔小說　ひとりも愉し　辰野九紫（インテリ炭屋商法記）
特輯短篇小說　絢爛！一流五作家の珠玉篇
針仕事　武田麟太郎
罌粟　石川達三
身代り戀　窪川稻子
赤子　林芙美子
岩魚はのびる　尾崎一雄
◇隨筆◇　夏の熊の浦　脇水鐵五郎　臨終隨想　柴豪雄
特價七十錢
血に彩る先驅者の受難　落下傘　北村小松
現代小說　七月二十四日　名匠の描く東京の哀愁詩篇　久保田万太郎
東京市麴町區內幸町　振替東京一七六〇三
文藝春秋社發行